

標記について下記のとおり報告します。

報告者 部会長 竹内 仁

日 時	2015 年 8 月 21 日 (火)
場 所	城陽市福祉センター 2 階
出席者	(株) ナプラス (1 名)、就労促進授産支援ネットワーク (1 名)、あんびしゃ(2 名)、あっぷ(1 名)、魁(1 名)、はびねす (1 名)、城陽作業所(1 名)、野の花 (1 名)、みんななかま(2 名)、福祉課(2 名) (参加者数：13 名)
欠席者	(有)ファンシステム(1 名)、庭一造園(1 名)、宇治支援学校(1 名)
検討課題	1. 福祉情勢・就労に関する情報の共有、2. インターンシップの取り組みにむけて、3. 福祉事業所見学、4. その他

【議事録】

1. 福祉情勢、就労に関する情報の共有

* 「はあとウォームカンパニー」認証制度 → 圏域では、9 社が認証済み。

「友愛ホーム」が城陽市では認証されている。

* 支援学校の生徒が「仕事体験」をできる仕組み作りを進めている。「プレジョブ」という制度があるが、それにのせていくか、山城地域独自のものにするか、検討している。

* 「対角線モデル」障がい者が重くても働けるよう福祉施策によって支援するための取り組み。「対角線モデル」についての学習会を実施予定。

2. インターンシップの取り組みに向けて

・部会とつながりのある市内企業 (DIVE・ナプラス・庭一) への、インターンシップの実施にむけた具体化。

*DIVE より、インターンシップの提案をして頂いている、調整を進めていきたい。

・(株) ナプラスへの第 2 回目のインターンシップにむけて。

* 飲料容器の選別作業を考えているが、現在の工場は屋外で厳しい作業環境。実際に他府県で障がい者雇用をしているところがあるので積極的に学んでいきたい。近隣では、「アクス」の見学もしようと思っている。来年の夏完成予定の新しい工場であれば室内でやりやすくなるので、インターンシップの取り組みも具体的に考えていきたい。現時点でのインターンシップとなると屋外での厳しい環境でもらうことになる。ごみの分別が変わったことで、前やっていた袋あけ作業は無い。現在の選別作業は、企業からの大きい発泡スチロールは来ているので、引き続きビニールをつめる作業はやっている。

* 苛酷な環境ということだが、仕事場は環境が変わることもあるので、そういうことを学ぶことも重要。実際現場を見てみて、判断したいと思う。前回やった内容と同じでも、別の利用者の方が体験してもらうことも重要と考えている。

* インターンシップの取り組みは、障がいのある人の就労の窓口を広げる意味では大きいと思う。外を見る機会が増えるのはありがたい。経験をつむために参加はしていきたいと思う。

* 内容を聞いたうえで、持ち帰って検討したいと思う。

* ぜひ参加したいという利用者がある。一方で「次に繋がる方がいい」「賃金が発生する方がいい」という意見も出ている。実際手を挙げたのは一人だった。

* 昨年のインターンシップに参加した利用者が、作業を体験した感想として「汚したままでトレイを出してはいけない」という発言をしていた。

* 当社へのインターンシップのとき、力仕事でも「やらしてください」と言っていた利用者の方がいた。そういう積極的な姿は大事だと思った。

* 現時点で、ナプラスでのインターンシップは、昨年との環境が変わり先ほど述べていただいた条件となることから、事前に見学をした後、実施の可否を検討していく方向で進めていく。

3. 福祉事業所見学

・見学の行き先について

- *大阪の方が気になる。先進してきたのは大阪なので、大阪への福祉事業所見学ができたらいいなと思う。
- *近場の場所であればピックアップしておく。
- *奈良の青葉仁会のレストランとレトルトカレーの工場見学に行った。
- *甲賀福祉作業所への見学は、近くでもうひとつ回る行程を組むのもいいのではないかと、調べておく。
- *他に行きたい事業所があれば、連絡がほしい。9時に出て16時までに帰るスケジュールで考えたい。

3. その他

・役割分担と体制

- *市の都市計画道路事業と当方の施設が絡んでいる、施設移転問題で忙しくなっていて、就労部会の段取りが遅れてしまっていた。あと1～2年は厳しい現状であるので、もう数名他に核になってもらう担当者を決めていきたい。
- *以前事務局として、宇治支援学校の先生も参加していた経緯があったが。
- *事務局には宇治支援の先生も入っていたが、実際は「福祉事業所フェア」のためのもの事務局で、その後は機能していなかった。
- *宇治の就労部会体制は部会長1名と副部会長2名で構成している、そのような役割分担をしていけばいいと思う。
- *分野別にひとりずつ出してもらうのがいいのではないかと。インターンシップがどうつながっていくのかが大事と思うので「就労移行」の部分の担当者も必要ではないか。
- *他の部会でもそうだが、中心メンバーを複数体制で進めていかないと、部会長が不在となった時に回らなくなる。引継ぎも含めての役割分担のイメージと考えている。
- *城陽作業所から就労部会の事務局として配置お願いできないか。
- *事業所（城陽作業所）としてはやってもらう方向でいいと考えている。
- *インターンシップがどうつながっていくのかが大事と思うので、「就労移行」の事業所も事務局に入ってもら方がいいのではないかと。あんびしゃから1名配置できないか。
- *事業所（あんびしゃ）で1名出す方向で、検討しておく。

○会議日程

- *基本2ヶ月に1回ペースで行う。
- *次回の開催日程、10月7日（水）10：30～12：00 福祉センター

次回開催日：2015年10月7日